

## 専門高校の充実・改善

---

新たな時代の要請に応える  
専門教育の推進に向けて

平成23年12月

神奈川県教育委員会

## 新たな時代の要請に応える専門教育の推進に向けて

活力と魅力ある県立高校づくりを進めるために、平成21年度までの10年間にわたり取り組んできた県立高校改革推進計画を通じて、専門高校においては、各校における魅力づくりを進めるとともに、総合技術科や総合ビジネス科、国際情報科や海洋科学科、さらには芸術科、理数科、国際科、スポーツ科学科、福祉科といった新たな専門高校を設置してきました。

しかし、専門高校を取り巻く状況は変化を続け、高校改革を通じた専門高校の魅力づくりの取組みの成果や、平成25年度から実施される新しい学習指導要領、さらには神奈川県産業教育審議会からの答申において、これからの専門高校に求められる役割は、それぞれの専門性に応じた神奈川県の産業に寄与する人材や、地域や社会に貢献する人材の育成であるとして、「将来のスペシャリストの育成」、「将来の地域産業を担う人材の育成」及び「人間性豊かな職業人の育成」という、3つの方向性が示されました。

そこで、こうした専門高校を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成22年度に検討を進め取りまとめた「これからの県立高校のあり方」においても、各校が担う役割やねらいを明確にして中学生や保護者などにわかりやすい学校づくりを進めるとともに、技術革新に対応できる教育内容を提供していくという、今後の具体的な取組みの方向性を示しました。

その上で、各専門分野における状況や県立高校の設置状況なども踏まえながら、各校が担う役割を明確にするため、学科改編や教育課程編成の工夫などを通じて、新たな時代の要請に応える専門教育を推進していくことといたしました。

なお、学科改編を含め、新たな教育課程編成にあたっては、新しい学習指導要領が実施される平成25年度に実施するものとして準備を進めてまいります。

\*\*\*\*\*

### 目次

I 農業に関する分野	2
II 工業に関する分野	5
III 商業に関する分野	6

## I 農業に関する分野

県立高校の農業に関する分野については、平成2年度の学科改編により「園芸科学科」、「食品科学科」、「畜産科学科」、「環境土木科」及び「生産流通科」の5学科を、3校で展開している。

学校名	設置学科⇒【改編学科】
平塚農業高校	食品科学科
	園芸科学科
	生産流通科 ⇒ 【農業総合科】
中央農業高校	園芸科学科
	畜産科学科
	生産流通科 ⇒ 【農業総合科】
相原高校	畜産科学科
	食品科学科
	環境土木科 ⇒ 【環境緑地科】
(吉田島農林高校※)	(普通科)
	(園芸科学科)
	(環境土木科)
	⇒(総合学科高校)

※ 吉田島農林高校については、これまでの専門学科高校としての取組みを生かした総合学科高校として、平成22年度に単独改編し吉田島総合高校となっている。

このうち、平塚農業高校と中央農業高校に設置されている「生産流通科」は、農業生産物の生産・加工・流通までを体系的に学習するという当初の目的が薄れていることや、学科名だけでは情報教育や資格取得まで含めた学習内容が分かりにくくなっているといった課題が生じている。

また、現在は相原高校のみに設置されている「環境土木科」については、造園技術者等の育成や緑地環境の創造、身近な環境から神奈川の特徴を生かした森林までの環境学習などの幅広い学習内容が求められていることや、学科名だけでは学習内容がイメージしづらいといった意見もあるといった課題が生じている。

そこで、「生産流通科」及び「環境土木科」については、教育内容を神奈川の特徴や時代の要請を踏まえ、より幅広い教育内容に見直す学科改編を行うこととする。

なお、「畜産科学科」、「食品科学科」及び「園芸科学科」については、明確な目的意識を持った中学生が入学し、学んでいることもあり学科改編は行うまでの必要性はないものの、上級学校への進学や就農意欲の高い生徒への指導も含めた、幅広い教育内容の充実などをさらに図っていくこととする。

## 1 「生産流通科」から「農業総合科」への学科改編

—農業経営から消費までの幅広い教育内容を提供—

- (1) 対象校
- ア 神奈川県立平塚農業高等学校  
(平塚市達上ヶ丘10-10)
  - イ 神奈川県立中央農業高等学校  
(海老名市中新田4-12-1)

- (2) 改編の目的
- ア 平塚農業高等学校  
農産物の生産・加工・流通といった農業経営から、販売や家庭等における消費にいたるまでの農業を総合的に学び、地域の農業や食品産業における技術革新にも対応できる将来のスペシャリストを育成するため、「農業総合科」へ改編する。

- イ 中央農業高等学校  
農作物の生産から食品加工・流通販売までをトータルに学習し、付加価値の高い農業経営を実現したり、幅広い視野を持って食品関連事業に従事できたりするスペシャリストを育成するため、「農業総合科」へ改編する。

- (3) 基本コンセプト
- ア 平塚農業高等学校
    - 地域の農産物を支える将来のスペシャリストの育成
    - 農産物の生産知識・技術の習得から流通・販売までの総合的な農業技術の習得に向けた教育展開
    - 地域にねざした実践的な農業教育の推進
  - イ 中央農業高等学校
    - 農業を総合的に見渡す将来のスペシャリストの育成
    - 農作物の生産、加工、流通・販売について、経営的な視点に立った教育展開
    - 第六次産業化※に寄与する人材育成に向けた実践的な教育展開

- (4) 規模等
- ア 平塚農業高等学校  
各学年1学級を基本とする
  - イ 中央農業高等学校  
各学年2学級を基本とする

※ 第六次産業化

農畜産物の生産(一次)だけでなく、食品加工(二次)、流通・販売等(三次)にも主体的かつ総合的に関わることで、農業者が得る付加価値を高めようとする取り組み

(一次×二次×三次=六次産業)

## 2 「環境土木科」から「環境緑地科」への学科改編

—身近な緑地環境と暮らしとの関わりや、森林環境保全に関する教育内容を提供—

- (1) 対象校 **神奈川県立相原高等学校**  
(相模原市緑区橋本 2 - 1 - 58)
- (2) 改編の目的 深刻化する地球規模での環境問題や、豊かな水を育む森林保全などの神奈川の特長も視野に入れ、自然環境に配慮した生活空間の新たな創造に必要な力を育成するために、「環境緑地科」へ改編する。
- (3) 基本コンセプト
- 持続可能な循環型社会を担う将来のスペシャリストの育成
  - 地球規模での環境問題を視野に入れた教育展開
  - 造園を通じた生活空間・環境創造に向けた教育展開
- (4) 規模等 各学年 1 学級を基本とする。

## II 工業に関する分野

県立高校の工業に関する分野については、県立高校改革推進計画を通じ、1年次には工業の基礎・基本を幅広く学んだ上で、2年次以降に専門分野を選択して学び進学にも柔軟に対応する総合技術高校(※)に加え、従来どおり各専門分野を3年間かけて計画的に深めて学ぶ小学科制の工業高校5校において、工業教育を展開している。

学校名	設置学科(◇・・・定時制も設置)と今後の方向性	
神奈川工業高校	機械科 ◇	上級学校への接続に向けた理工教育の推進を重視
	建設科 ◇	
	電気科 ◇	
	デザイン科	
磯子工業高校 (定時制は総合学科)	機械科	地域産業を担う 人材育成に向けた 実践的な教育展開を 重視
	建設科	
	電気科	
	化学科	
向の岡工業高校 (定時制は総合学科)	機械科	
	建設科(建築コース) 〃 (都市工学コース)	
	電気科	
横須賀工業高校	機械科	
	電気科	
	化学科	
小田原城北工業高校	機械科 ◇	
	建設科	
	電気科 ◇	
	デザイン科	
川崎工科高校	総合技術科	
平塚工科高校	総合技術科	
藤沢工科高校	総合技術科	
商工高校※	総合技術科	

※ 商工高校は平成25年度に総合技術科に改編

これまでも各校でそれぞれ特色ある工業教育を地域とも連携しながら展開し、京浜工業地帯をはじめとする地域産業を支え、活躍する工業人材を多数輩出し、神奈川県産の産業振興に大きな役割を果たしてきている。

しかし、産業・就業構造の変化や科学技術の一層の進展といった社会状況の変化や、体験的な学習や実践的技術の習得に加え、卒業後もさらに発展的に上級学校等で専門分野を学びたいといった、学習・進路希望が多様化する生徒状況にも対応していく必要がある。

そこで、デュアルシステム(長期現場実習)を導入するなど資格取得をめざす教育内容を充実し、地域産業を担う人材育成に向けた実践的な教育展開を図るほか、4年制大学など、上級学校への接続に向けた理工教育を推進するといった、各工業高校が担う役割を明確化し、取り組んでいく。

### Ⅲ 商業に関する分野

県立高校の商業に関する分野については、平成20年度に総合ビジネス科のみを設置して開校した小田原総合ビジネス高校と平成25年度に総合ビジネス科及び総合技術科併置校に改編することとした商工高校に加え、「商業科」、「情報処理科」(平成5年設置)及び「国際経済科」(平成3年設置)の3学科を置く3校の、計5校で展開している。

学校名	設置学科⇒【改編学科】
平塚商業高校	商業科
	情報処理科 }⇒ 総合ビジネス科
	国際経済科
厚木商業高校	商業科
	情報処理科 }⇒ 総合ビジネス科
	国際経済科
相原高校	商業科
	情報処理科 }⇒ 総合ビジネス科
	国際経済科
小田原総合ビジネス高校	総合ビジネス科
商工高校※	総合ビジネス科

※ 商工高校は、平成25年度に総合ビジネス科に改編

これまで各校においては、それぞれ特色ある商業教育を展開し、各校の地元地域との連携を図るとともに、産業界で活躍する人材を多数輩出するなど、神奈川県産の産業振興に大きな役割を果たしてきた。

しかし、近年、国際化、情報化、少子・高齢化等の進展により、産業構造が大きく変化し、また、技術の進歩も著しい状況であることから、時代に即した新たな商業教育が求められている。

そこで、時代の変化に柔軟に対応し、ビジネスの幅広い分野に対する学習意欲と、商業高校で学ぶ生徒の多様な進路希望に応じた商業教育を総合的に展開し、次代の地域産業を担うスペシャリストを育成していくことを目的として、1年次に総合的にビジネスの基礎・基本を身に付けた上で、2年次以降、生徒一人ひとりの進路希望や特性、興味・関心に応じた系やコースに分かれて専門的な学習を深めていく「総合ビジネス科」へ3校ともに、学科改編を行う。

## 1 「総合ビジネス科」への学科改編

ービジネスの基礎基本を幅広く学んだ上で、生徒の特性に応じた分野の深い学びー

- (1) 対象校
- ア 神奈川県立平塚商業高等学校  
(平塚市中里50－1)
  - イ 神奈川県立厚木商業高等学校  
(厚木市王子3－1－1)
  - ウ 神奈川県立相原高等学校  
(相模原市緑区橋本2－1－58)

- (2) 改編の目的
- グローバル化の進展や産業構造の大きな変化の中で、時代の変化に柔軟に対応した新しい商業教育を展開し、幅広い分野の学習希望と多様な進路希望に対応するとともに、次代に生きる社会人として、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身につけ、創造力豊かなビジネス人材を育成するため、1年次にビジネスの各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を幅広く学んだ上で、生徒一人ひとりの進路希望等に応じて専門的な学習を進めることのできる「総合ビジネス科」へ改編する。

- (3) 基本コンセプト
- 創造力豊かなビジネスのスペシャリストの育成
  - 生徒一人ひとりの多様な学習・進路希望に応える新たな商業教育の展開
  - 地域の産業界で即戦力として活躍できる人材育成に向けた教育展開

- (4) 系・コース
- ア 平塚商業高等学校
    - 経営ビジネス系 国際ビジネス系 ITビジネス系
    - マーケティングビジネス系
  - イ 厚木商業高等学校
    - ビジネス系 会計系 国際系 情報系
  - ウ 相原高等学校
    - 会計系・会計コース ビジネス系・国際ビジネスコース
    - ビジネス系・情報コース

- (5) 規模等
- ア 平塚商業高等学校  
各学年5学級を基本とする
  - イ 厚木商業高等学校  
各学年7学級を基本とする
  - ウ 相原高等学校  
各学年3学級を基本とする



